

# 森のおくりもの11月



コハウチワカエデ (ムクロジ科)



11月に入り、太白山周辺も木々が色づいてきました。紅葉は秋口の天候など複数の要素が組み合わさることで色の鮮やかさに違いがでてきます。

赤く色づくだけでなく、鮮やかな黄色の黄葉、茶褐色に変化する褐葉といったように色あいも様々ですが、いずれも緑色の成分である葉緑素が消滅することによって起こる現象です。

よく観察してみると、一本の木の中にも赤く色づく葉もあれば、鮮やかな橙色の葉、それらが組み合わさって美しい濃淡を作り出している葉があるなど変化に富んでいて、いつまでも見飽きることはありません。

また、紅葉は落葉樹にとって葉を落とすための一種の儀式でもあります。まもなく観察の森に冬がやってきます・・・ 【写真・文 近藤晋也】

## 森のことは

自然の様子やできごとを四字熟語やことわざなどに当てはめ、森で感じた言葉をお届けします

### 『嵐の後には風が来る (あらしのあとにはなぎがくる)』

秋は台風シーズンです。昔の暦に「二百十日」といって台風の襲来が多くなるので備えを怠らないよう戒める日や、自然災害についての認識を深める「防災の日」が制定されているように、台風に注意をしないといけない時期です。この秋は全国で甚大な災害が発生してしまい、宮城県でも台風19号や低気圧が立て続けに襲来して各地で被害がありました。この時は私も激しく叩きつける大雨と避難を呼びかける防災情報のアラームの音で、不安な夜を過ごしました。太白山自然観察の森では、この影響により10本以上も立木が倒れたり仮設の橋が流されたり、土砂が堆積する被害がありました。

天気予報で朝には通り過ぎるとわかっているにもかかわらず、あまりの大雨に「いつまで降り続けるのだろうか、森は大丈夫だろうか」と心配で無事を祈る気持ちでした。台風一過の朝は、荒れた後だから青空が殊更美しく見えました。このときに思ったのが「嵐の後には風が来る」です。凧とは風がおさまって波が穏やかになり、海面が静まる状態のことで、「どんな嵐でも、過ぎればいつもどおりのおだやかな日が戻ってくる」という意味です。

「今は状況が悪くと思うようにならなかったとしても、焦らずに待てば、いつかは幸運が訪れるものだ」というこの言葉。どんな困難な状況だとしても、乗り越えれば幸運が訪れるという希望があれば、辛いことにも立ち向かっていける、台風後の青空からそう感じました。

【レンジャー：新田隆一】



# 11月の生物ごよみ

【植物】 秋の花『リンドウ』が確認されたのが10月9日に『ヤマツツジの丘』付近で。太白山周辺で最後に咲く『キッコウハグマ』は10月16日に開花の確認が出来た。紅葉の見頃は例年だと11月初めから中頃までだが今年は1週間ほど遅れそうだ。

【野鳥】 冬鳥の知らせも少しずつ入り、10月31日にジョウビタキの鳴き声を聞く。その他、アオジやシメなども姿を見せ始める。周辺でもいろいろな冬鳥の確認情報が少しずつ入ってくるようだ。

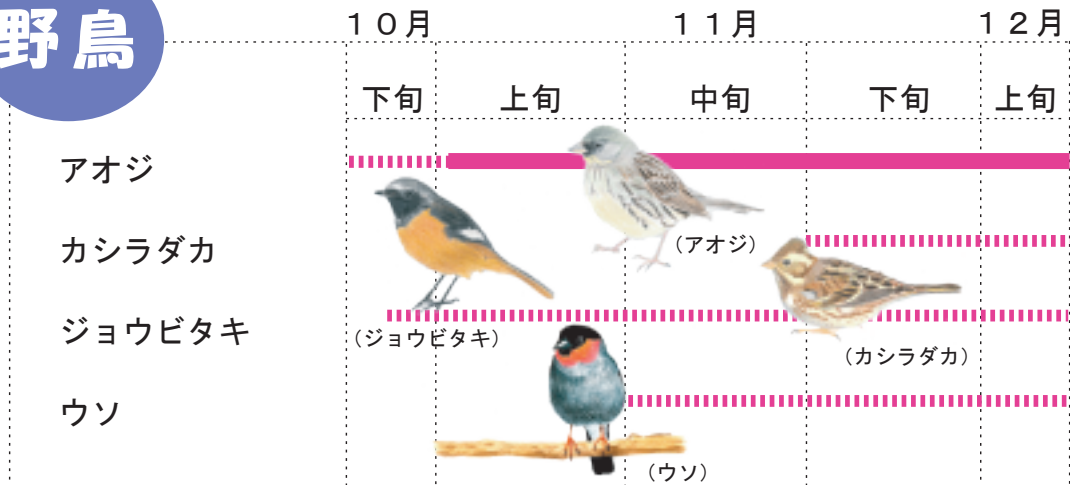
【キノコ】 雨が少なかったせいか、キノコのなりもいまひとつだったようだ。カエンタケは今年もヤマツツジの丘付近で確認された。

【ドングリ】 今年も昨年同様ドングリの実りは今ひとつだった。多い年は一面ドングリだらけという年もあったので間違いなく不作といえるだろう。ドングリ同様クリの実りもよくなかった。

【ナラ枯れ】 初めにこの森で発見されたのが2013年の夏。本格的に枯れ始めたのが2017年の夏。今年は目立ったナラ枯れはなく、終息したのだろうか。まだ経過観察中だ。

【野生動物】 最近頻繁にイノシシの目撃情報がある。普段は夜に現れるイノシシも最近では日中によく出会う。この辺のイノシシは人影を見るとすぐ逃げていくのだが、注意は必要だ。またクマ情報もたまにある。センター周辺では毎年5月中旬から11月初旬までセンサーカメラに撮影されている。しかしほとんどが夜間に撮影され、日中に森で出会うことはない。この時期に夜間に森を出歩くことはないだろうが、絶対ではないので注意は必要である。そのほか夜間のセンサーカメラにはタヌキやノウサギなどもよく撮影されている。

## 野鳥



【レンジャー：齋 正宏】

※ナラ枯れ コナラやミズナラといったナラ類などの広葉樹の幹に、カビの一種「ナラ菌」が入り、水の通りが悪くなって木が枯れる現象。菌がついたカシノナガキクイムシという体長数ミリの昆虫が幹に穴を開け入り込むことで起こる。

# 森の「おとしもの」



## その16 「たねの旅立ち」

動けない植物はいろいろな方法で子供たち（種）を他の場所に連れていきます。パラシュートの綿毛や翼で風に乗る「風散布」、川の流れなど水に浮いて移動する「水散布」、動物の体にひっついたり食べられてフンと一緒に「動物散布」、パチンとはじけて「自動散布」、特別な技もなくそのまま落ちる「重力散布」なんてのもあります。種を拾っては“どうやって？”と考えながら紅葉の森を歩くのは楽しいものです。

さてオニグルミの実ですが、この子はどうやって新天地に旅立つのでしょうか？ポトンと落ちる「重力散布」でしょうか？でも実際に地面の上に落ちたままでは芽は出ません。以前オニグルミを地上に5個、地中に5個埋めて観察したら、地面の5個はそのまま発芽せず土に埋めた5個は翌年すべて芽をだしました。よく知られているリスやネズミによる「動物散布」ですね。ところで別な資料には「水散布」とありました。水辺のオニグルミの樹から落ちた実はぷかぷか流されながらどこかの岸に打ち上げられ土砂に埋められれば発芽できるのでしょうか。実際筑川の岸にはオニグルミの樹が沢山あります。いきものってすごい！テレビのクイズ番組みたいに単純な答でなく、いろんなやり方で命をつないでいるのですね。

【レンジャー：木田秀幸】





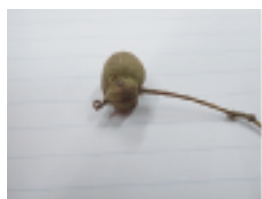
# 森は糸 森は布

森は様々な生き物が互いにつながって  
森として生きているんですね(\*\_\*)

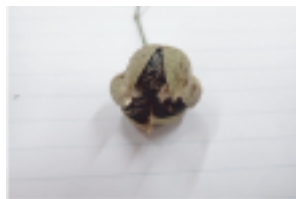
太白山自然観察の森にはたくさんの種類の植物を見ることができます。森は今、紅葉の季節に入り、赤や黄色、オレンジ色など植物の種類によって鮮やかに葉を染め上げようとしています。誰かに見せようなど考えていないかもしれませんが、私たち人の目を楽しませ、心を豊かにしてくれるのは間違いありませんね!(^^)!。今回は、自然観察路の近くで見られるとっておきの紅葉「赤」の葉を紹介します。



周りがまだ緑の葉をつけている植物の中であって鮮やかな赤色に色を変え始めているのは、左がヤマウルシ、右がメグスリノキです。両方とも南向きのよく日の当たる場所に生えていました。また、日光の当たる葉ほど色づきが早いようです。しかし、日光が同じように当たっても周りの樹木や草などの葉が赤くならないのには理由があるのでしょうか。さらに、紅葉は黄葉のように赤にならない葉も多いのはちょっと不思議で面白いですね。赤色の正体はアントシアニンという色素に関係していますが、この色素は植物の体を守る役割を担っているともいわれています。ところでヤマウルシの葉とメグスリノキの葉はさらに真っ赤になったあと落葉しますが、小さな葉が1枚1枚はらはらと散るのでしょうか。紅葉が終わったあとの落ち葉に目を向けてみると答えが見つかるかもしれませんよ。



⇒



⇒



紅葉のきれいな樹木として「シラキ」もこの自然の森では多く見られます。カキの葉に似た比較的大きな葉で、黄色や赤の混じったもの、全体がレモンのような黄色になるものなどさまざまに色づきます。さて、上の写真はやすらぎの道で拾ってきたシラキの実です。私の机の上に置いて1週間ほどすると実がぱっくりと3つに割れてしまいました！中にはまだら斑点の丸い種子が顔をのぞかせていました。実のカプセルが自動で開いて種子が顔を出すなんて見事な仕組みですね。おっと、机の「マンサク」の実がパッチっとはじけた!(^^)!すごい！樹木の実にも注目したいですね。 【レンジャー：菅原 幸彦】

# 11月のイベント & お知らせ

## ◆「鉤取山ネイチャーウォーキング」

・紅葉のすすむ鉤取山の原生林を講師と一緒にゆっくりと歩きます。

【日 時】11月16日（土）10：00～15：00

【定 員】20名

【持ち物】昼食、飲み物、歩きやすい服装と靴、帽子、雨具（カッパ）

【申込み】11月6日（水）9：00～電話で受付〔先着順〕

## ◆ガイドウォーク「館長と森を歩こう」

・秋の深まる自然観察の森を館長がご案内します。

【日 時】11月24日（日）10：00～11：30

【定 員】なし

【持ち物】歩きやすい服装と靴、帽子、雨具（カッパ）

【申込み】不要



◆天候の急変等で安全確認できない時はイベントを中止する場合があります。

◆台風で流された市道からトンボの沢への橋は通行可能となりました。

毎週  
日曜は

## 『ガイドウォーク』の日！

11月の開催日は3日、10日、17日、  
24日です。

開催時間：10:00～11:30  
13:30～15:00

◎24日の午前中は、自然観察センター館長がご案内します。  
申し込み不要。時間までセンター前にお集まり下さい。

## 11月の休館日

5日（火）、11日（月）

18日（月）、25日（月）

※月曜が祝日の場合は  
火曜日が休館です。



### 宮城交通バスの場合

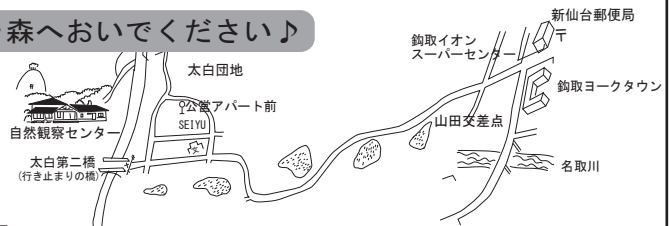
- ① 仙台駅 乗車時間 約40分
  - ② 長町駅東口 乗車時間 約30分
  - ③ 八木山動物公園駅 乗車時間 約10分
- 【行先】①②③ 「太白団地經由山田自由ヶ丘車庫行」乗車  
（※③のみ乗車可「太白団地、山田自由ヶ丘經由山台南ニュータウン行」）  
いずれも「公営アパート前」下車→徒歩15分



### お車の場合

国道286号線の山田交差点から太白団地方面へ。  
道々の案内板に従って約10分で駐車場へ。徒歩5分でセンター

### ♪森へおいでください♪



自然観察の森の最新情報、  
「森のおくりもの」バックナンバーは  
Webで！

「杜のひろば」URL：<http://www.sendai-park.or.jp/web/info/taihakusan/index.html>

2019年11月号（毎月1回5日発行）

発行：（公財）仙台市公園緑地協会

編集：仙台市太白山自然観察の森 自然観察センター

〒982-0251 仙台市太白区茂庭字生出森東36-63

TEL：022-244-6115 FAX：022-244-6133